

日本製鐵所分

漢陽鐵廠分

大正四年十二月	三一、六三三	二〇、五五一
大正五年一月	一九、〇二四	二五、六五八
同 二月	五、四〇二	九、六三八
同 三月	二二、一六七	二五、二一六
合 計	七八、二二六	八一、〇六三

右の内二月に於て貯鑛量のみに減少せしは陰曆正月に抗夫苦力の休業者多かりし爲にして、一月に於ける鑛量の特に本邦の分に少なきは恰も雨季に際し泥土の附着せるを嫌忌して運出回数を輕減せしに因る、又右四箇月間に搬出せる兩製鐵所へ供給鑛量の總計は約十六萬噸なるを以て、此比例を以て殘る八ヶ月の搬出鑛量を概算する時は約四十八萬噸となるも、實際に於ては四月以後は雨天少きのみならず晝間亦た長くして抗夫の稼行時間を増加し、其結果頗る出鑛を急増するを常例とするを以て、本年度の豫定出鑛量は優に六七十萬噸に上るべく、我製鐵所の分三十萬噸と北海道行の分數萬噸の供給は極めて容易なるへし、唯長江の水尙増水季に至らず、昨年に比し我鑛石船の溯江に數週間の遅緩あり、爲に三伏の炎熱の候一時に運鑛事業の大急忙を見るへし。

南北軍の兵亂は毫も當地鑛業に影響を見ざるも武昌漢口方面より當地へ避難せる官民の數日に其多きを加ふ。(大正五年四月五日附大冶通信)

●山東金嶺鎮鐵山

金嶺鎮鐵山は山東省青州府の西方に在り含鑛實に一億噸以上に及ぶ、獨逸は早くよりその探掘を企て種々調査するところありしか、日獨開戦の時までは未だ探掘準備に着手するに至らず、這回山東鐵道管理部はこれか開掘を企畫し、帝國議會に於て陸軍省より探掘豫算を提出したるか、(陸軍臨時費中に含まれたり)無事通過したるを以て愈々來る四月の新年度より探掘準備等に着手する筈なり、含鑛量、成分等獨逸山東鑛山會社の調査に依れば左の如し。

一、含鑛量

鐵山 二千四百七十萬噸

巾一八四米、厚一三、二(米北方に至れば四、六米)長さ、二、二〇〇米

玉皇山 八千萬噸

巾一五〇米、厚二五乃至三〇米、長さ五〇〇米

四寶山 千七百八十萬噸

巾一七〇米、厚七米、長一、五〇〇米

計 一億二千二百五十萬噸

右鐵山、玉皇山、四寶山等は皆鐵山のみにして右三山中

四寶山の鐵鑛最も良質なりと傳へらる、右の外北端に位置する鑛區には長四基米、厚十二米のものありと云ふ。

二、鑛床、花崗岩、石灰岩間の接觸鑛床

三、鑛石、磁鐵鑛

三、鑛石、磁鐵鑛

三、鑛石、磁鐵鑛

四、成分

甲號(明治四十四年十二月製鐵分析)

▲第二酸化鐵六二、六九▲第一酸化鐵二二、四五▲硅酸六、三二

乙號(同上)

▲第二酸化鐵七三、七五▲第一酸化鐵一九、一二▲硅酸一、八七

五、採鑛費(山東鐵道會社の採掘豫算)

採掘費 一噸に付一弗五十仙

金嶺鎮青島間鐵道運賃 二弗五十仙

山元より金嶺鎮驛までの搬出費 一弗

税金及積込費 五十仙

計 五弗五十仙

尙ほ獨逸は金嶺鎮鐵山採掘と同時に滄口に一千萬馬克の資を投して製鐵所を設け年十萬噸の鑛石を熔解する計畫ありしと云ふ。(三月二十三日神戸又新)

●製鐵調査會方針

製鐵調査會設置の件は都合によ

り未だ發表に至らざるも、諸新聞の傳ふる所に據れば既に閣議にて決定し農商務省に於て委員の人選決定次第官制の發表と共に委員の任命あるべく、政府の方針として該調査會は極めて地味に實用的ならしめんとするに在り、隨て委員の如きも農商務省の官吏に加ふるに製鐵事業に經驗を有する少數の實業家を以てするに止め、上下兩院議員並に

學者等は餘り關係せざることに決したる由なるか、從來本調査會設置の説あるや各方面より種々の希望あり、殊に上院側よりは有力なる運動ありて、爲に農商務省にては委員の人選に非常の困難を感じつゝありしも、是か爲め緊要なる調査を遅延せしむるは遺憾なれば、結局兩院議員の希望を容れざるに決したりと、尙其調査方針に付て聞くに其内容に單に製鐵に止まらず、鐵材其物に關する調査をも併せ含めるものにして現在の所にては其國産の鐵は殆と言ふに足らず、隨て海外に於ける鐵材を主要なる題目として調査せらるべく、從來は輸入鐵材に關する關稅政策の討究に止まり、それ以上に踏込みて調査を爲すこと無かりしも、時局に際し諸般の施設に伴ふ材料の缺乏せる折柄とて、之れに對する十分の調査を必要とすれども、這是場合により國交上重大なる關係を生ずるを以て、其結果の全部を公表する能はざるやも料られざる趣なり。

●鐵鋼に關する企業

各新聞紙上に傳ふる所を集

録すれば左の如し。

岸本製釘所擴張内容 尼崎の岸本製釘所にては既報の如く(本誌前號參看)事業擴張の計畫ありしか、愈其實行を見ることとなり、現在の製釘工場北手隣接地數千坪の所有地上に約五十萬圓を投し製鋼及鐵條網工場を設置すべく、昨今其基礎工事中にして、新工場は四棟千百三十五坪本年中心竣功の豫定なるか聞く所に據れば原料は主として印度支